

検証指標の見直しについて 経営戦略中期実施計画 (素案たたき台)

令和6年11月
熊本市上下水道局

表の見方について

中期実施計画の検証指標(目標値)を設定するにあたり、
前期実施計画の目標値に対して、伸び率がどのような傾向にあるかを以下のとおり示しています。

基	取	項番	区分	検証指標名	集計区分	前期実施計画					中期実施計画			指標設定の考え方 ※前期計画との比較
						R2	R3	R4	R5(基準値)	R6目標	R7	R8	R9	
検証指標の区分				指標名	単年度・累計	これまでの実績				目標値	新たに設定した目標値			

指標設定の考え方

中期実施計画の目標値を
高く設定した場合

↑	上方修正
↗	微増傾向

中期実施計画の目標値を
低く設定した場合

↓	下方修正
↘	微減傾向

前期実施計画と同じ水準
又は指標を見直した場合

→	前期計画の水準維持
その他	理由

基本方針1 適切な維持管理と計画的な整備

基	取	項番	区分	検証指標名	集計区分	前期実施計画					中期実施計画			指標設定の考え方 ※前期計画との比較	
						R2	R3	R4	R5(基準値)	R6目標	R7	R8	R9		
基本方針1	取組1	1	水道	水質基準達成率	単年度	100% (A)	100% (A)	100% (A)	100% (A)	100%	100%(毎年度)			→	前期計画の水準維持
		2	水道	残留塩素濃度から見たおいしい水の要件達成率	単年度	100% (A)	100% (A)	100% (A)	100% (A)	100%	100%(毎年度)			→	前期計画の水準維持
	取組2	3	水道	有効率	単年度	92.5% (A)	92.1% (A)	91.4% (B)	90.0% (C)	93.0%	93.3%	93.7%	94.0%	→	前期計画の水準維持
		4	水道	鉛製給水管率	単年度	5.78% (C)	5.54% (C)	4.76% (A)	4.04% (B)	3.25%	2.88%	2.51%	2.21%	→	前期計画の水準維持
		5	下水道	浄化センター・ポンプ場の設備機器の点検割合	単年度	56箇所 (A)	117箇所 (A)	186箇所 (A)	240箇所 (A)	201箇所	100%	100%	100%		累計箇所数から単年度の実施割合に変更
		6	下水道	腐食環境下における下水道管路の点検実施率(5年に一度実施)	5年毎に2か年で実施	100% (A)	0% (-)	0% (-)	0% (-)	50%	100%	-	-	→	前期計画の水準維持
	取組3	7	水道	取水井戸の更新箇所数(期間内累計)	累計	3箇所 (A)	4箇所 (B)	6箇所 (B)	7箇所 (B)	11箇所	13箇所	15箇所	17箇所	→	前期計画の水準維持
		8	水道	水道管路の更新延長(期間内累計)	累計	20.9km (B)	29.8km (C)	45.9km (C)	55.3km (C)	73.3km	71.9km	83.3km	94.7km	↓	下方修正
		9	水道	水運用機能強化のための新設管路延長	累計	96.8km (A)	99.5km (B)	105.8km (A)	112.8km (A)	122.0km	121.8km	126.6km	131.4km	↓	下方修正
		廃止	水道	未普及地区の水道管路整備延長	累計	185.5km (A)	197.2km (A)	208.1km (A)	220.2km (A)	-	-			廃止	R5完了のため
		10	下水道	浄化センター・ポンプ場の設備機器の改築更新率(期間内累計)	単年度	9箇所 (A)	18箇所 (A)	25箇所 (A)	34箇所 (A)	36箇所	100%	100%	100%		累計箇所数から単年度の実施割合に変更
		11	下水道	下水道管路の改築更新延長(期間内累計)	累計	921m (B)	5,229m (A)	8,175m (A)	9,145m (B)	12,500m	15,000m	17,500m	20,000m	→	前期計画の水準維持
12	下水道	公共下水道普及率	単年度	90.3% (A)	90.5% (B)	90.8% (B)	91.0% (B)	91.6%	91.4%	91.6%	91.8%	↓	下方修正		

基本方針2 災害に強い上下水道の確立

基	取	項番	区分	検証指標名	集計区分	前期実施計画					中期実施計画			指標設定の考え方 ※前期計画との比較	
						R2	R3	R4	R5(基準値)	R6目標	R7	R8	R9		
基本方針2	取組4	13	水道	耐震適合性のある基幹管路の割合	単年度	79.6% (A)	79.5% (B)	80.3% (A)	80.7% (A)	80.9%	81.4%	82.1%	82.8%	↑	上方修正
		14	水道	水道管路の耐震管率	単年度	29.5% (A)	30.3% (A)	31.3% (A)	32.0% (A)	32.3%	32.7%	33.1%	33.5%	↘	微減傾向
		15	下水道	下水道管路の耐震化率	単年度	39.4% (B)	41.2% (A)	43.0% (A)	43.7% (A)	43.4%	44.9%	45.4%	46.0%	↗	微増傾向
		16	下水道	浄化センター・ポンプ場の耐震対策実施率	単年度	33.8% (A)	35.9% (A)	36.4% (A)	38.4% (A)	36.0%	39.4%	39.9%	40.4%	↑	上方修正
	17	水道	災害対策用貯水量	累計	61,450m ³ (A)	66,950m ³ (A)	66,950m ³ (A)	66,950m ³ (B)	-	66,950m ³	66,950m ³	66,950m ³	→	前期計画の水準維持	
	18	下水道	重点対策地区の対策実施面積	累計	690.5ha (A)	690.5ha (A)	690.5ha (A)	690.5ha (B)	1,024.8ha	690.5ha	690.5ha	901.4ha	新計画に基づく整備面積の変更		
	19	共通	危機管理研修延べ時間	単年度	323時間 (C)	363時間 (C)	389時間 (C)	892時間 (B)	1,000時間	1,000時間(毎年度)			→	前期計画の水準維持	
取組6	20	水道	避難所運営委員会等向け研修の実施回数(貯水機能付給水管)	単年度	8回 (A)	5回 (A)	6回 (A)	5回 (A)	5回	5回(毎年度)			→	前期計画の水準維持	
	21	下水道	マンホールトイレの整備基数	累計	240基 (A)	290基 (A)	340基 (A)	390基 (A)	440基	490基	540基	590基	→	前期計画の水準維持	

基本方針3 水循環の保全

基	取	項番	区分	検証指標名	集計区分	前期実施計画					中期実施計画			指標設定の考え方 ※前期計画との比較	
						R2	R3	R4	R5(基準値)	R6目標	R7	R8	R9		
基本方針3	取組7	22	水道	取水量に対する地下水かん養量の割合	単年度	19.3% (B)	19.0% (B)	18.4% (B)	18.0% (B)	20.0%	20.0%(毎年度)			→	前期計画の水準維持
		再掲	水道	有効率	単年度	92.5% (A)	92.1% (A)	91.4% (B)	90.0% (C)	93.0%	93.3%	93.7%	94.0%	→	前期計画の水準維持
	取組8	23	下水道	目標放流水質達成率 (法令より厳しい基準を設定)	単年度	95.2% (B)	82.7% (B)	98.8% (B)	96.4% (B)	100%	100%(毎年度)			→	前期計画の水準維持
		24	下水道	放流水の窒素含有量	単年度	4,161kg/日 (A)	4,091kg/日 (A)	3,622kg/日 (A)	3,842kg/日 (A)	4,473kg/日	4,270kg/日	4,270kg/日	4,270kg/日	↑	上方修正
		25	下水道	放流水のリン含有量	単年度	357kg/日 (A)	305kg/日 (A)	338kg/日 (A)	335kg/日 (A)	450kg/日	430kg/日	430kg/日	430kg/日	↑	上方修正
		26	下水道	水洗化率	単年度	97.40% (A)	97.54% (A)	97.61% (A)	97.62% (A)	97.63%	97.69%	97.75%	97.81%	→	前期計画の水準維持

基本方針4 資源・エネルギーの循環促進

基	取	項番	区分	検証指標名	集計区分	前期実施計画					中期実施計画			指標設定の考え方 ※前期計画との比較	
						R2	R3	R4	R5(基準値)	R6目標	R7	R8	R9		
基本方針4	取組9	27	下水道	処理水量1㎡あたりの電力量	単年度	0.330kWh (A)	0.352kWh (B)	0.354kWh (B)	0.345kWh (B)	0.331kWh	0.387kWh	0.387kWh	0.387kWh	高度処理施設導入のため見直し	
		28	共通	再生可能エネルギー発電量	単年度	10,370 千kWh (A)	10,1362 千kWh (A)	10,344 千kWh (A)	12,273 千kWh (A)	9,000 千kWh以上	13,900千kWh/年 以上の水準を維持			↑	上方修正
		廃止	下水道	消化ガスの有効利用率	単年度	78.2% (B)	79.2% (B)	81.4% (B)	78.3% (B)	82.0%	-			廃止	消化ガス利用設備の増設がないため

基本方針5 お客さまの視点に立ったサービス提供

基	取	項番	区分	検証指標名	集計区分	前期実施計画					中期実施計画			指標設定の考え方 ※前期計画との比較	
						R2	R3	R4	R5(基準値)	R6目標	R7	R8	R9		
基本 方針 5	取組 10	29	共通	お客さまからのご意見数 ⇒アンケートの回答者数	単年度	527件 (A)	519件 (A)	593件 (A)	578件 (A)	500件	380人	410人	440人		件数から人数へ 見直し
	取組 11	30	共通	情報提供満足度	単年度	40% (A)	38.3% (B)	40.5% (A)	40.3% (B)	43.0%	44.4%	45.8%	47.2%	→	前期計画の 水準維持
		31	共通	広報活動の認知度	単年度	89% (B)	88.9% (B)	88.8% (B)	91.6% (A)	90.0%	90.0%(毎年度)			→	前期計画の 水準維持
	取組 12	32	共通	給排水設備工事の電子申請率	単年度	26.9% (A)	25% (A)	26.4% (A)	29.0% (A)	26.5%	30.0%	30.5%	31.0%	↑	上方修正
		33	共通	電子手続きの利用件数	単年度	11,975件 (A)	15,389件 (A)	20,558件 (A)	22,723件 (A)	6,700件	27,200件	29,400件	31,600件	↑	上方修正

基本方針6 お客さまから信頼される職員の育成

基	取	項番	区分	検証指標名	集計区分	前期実施計画					中期実施計画			指標設定の考え方 ※前期計画との比較	
						R2	R3	R4	R5(基準値)	R6目標	R7	R8	R9		
基本 方針 6	取組 13	34	共通	研修受講率	単年度	79.1% (A)	87.4% (A)	100% (A)	92.7% (A)	86.0%	93.3%	93.9%	94.4%	↑	上方修正
		35	共通	内部講師の養成数	単年度	0人 (C)	3人 (A)	4人 (A)	4人 (A)	2人	2人(毎年度)			→	前期計画の 水準維持
		廃止	共通	職員からの意見提案数	単年度	0件 (C)	15件 (A)	8件 (A)	1件 (C)	10件	-			廃止	全庁的な制 度に一元化 したため
		36	共通	国際交流延べ件数	単年度	0人 (C)	0人 (C)	39人 (A)	32人※3件 (A)	20人	5件(毎年度)				人数から件数へ 見直し

基本方針7 財政見通しに基づく事業経営

基	取	項番	区分	検証指標名	集計区分	前期実施計画					中期実施計画			指標設定の考え方 ※前期計画との比較	
						R2	R3	R4	R5(基準値)	R6目標	R7	R8	R9		
基本方針7	取組14	37	水道	水道事業会計純損益	単年度	28.4億円(A)	28.8億円(A)	23.4億円(A)	24.6億円(A)	黒字	黒字(毎年度)			→	前期計画の水準維持
		38	下水道	下水道事業会計純損益	単年度	17.8億円(A)	19.7億円(A)	24.1億円(A)	19.8億円(A)	黒字	黒字(毎年度)			→	前期計画の水準維持
	取組15	39	水道	企業債残高(水道)	単年度	323億円(A)	314億円(A)	307億円(A)	295億円(A)	286億円	310億円	339億円	347億円	↓	下方修正
		40	下水道	企業債残高(下水道)	単年度	1,339億円(B)	1,312億円(B)	1,291億円(A)	1,287億円(B)	1,244億円	1,275億円	1,282億円	1,290億円	↓	下方修正
		41	水道	企業債残高対給水収益比率	単年度	281%(A)	275%(A)	269%(A)	258%(A)	262%	273%	301%	311%	↓	下方修正
42	下水道	企業債残高対事業規模比率	単年度	686%(C)	672%(B)	664%(B)	664%(B)	648%	643%	651%	665%	↓	下方修正		

基本方針8 経営基盤の強化

基	取	項番	区分	検証指標名	集計区分	前期実施計画					中期実施計画			指標設定の考え方 ※前期計画との比較	
						R2	R3	R4	R5(基準値)	R6目標	R7	R8	R9		
基本方針8	取組16	廃止	共通	計画期間内累計資産売却数(期間内累計)	累計	1件(A)	3件(A)	3件(B)	5件(A)	5件	-			廃止	当初目標達成のため
		再掲	水道	水道事業会計純損益	単年度	28.4億円(A)	28.8億円(A)	23.4億円(A)	24.6億円(A)	黒字	黒字(毎年度)			→	前期計画の水準維持
		再掲	下水道	下水道事業会計純損益	単年度	17.8億円(A)	19.7億円(A)	24.1億円(A)	19.8億円(A)	黒字	黒字(毎年度)			→	前期計画の水準維持
	取組17	43	水道	料金回収率	単年度	-	-	-	119.4%	-	114.6%	111.7%	109.8%	新規	経営状況を示す指標として新たに設定
		44	下水道	経費回収率	単年度	-	-	-	95.8%	-	95.6%	93.9%	92.7%	新規	